

# Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging (JSAWI2025)

小栗 耕平

北海道大学病院 放射線診断科

2025年10月2日論文受領、最終受理2025年10月3日

2025年9月26日から27日に淡路島で開催された「JSAWI 2025」に参加させていただいた。JSAWIは、産婦人科関連疾患の画像に高い関心と専門性を有する産婦人科医・放射線科医・病理医が一堂に会するシンポジウムである。

私は「術前診断が困難であったADC低値を伴う両側漿液性腺線維腫の一例」という演題でポスター発表を行った。ADC値による良悪性鑑別の有用性については、これまで複数の報告があるが、今回、ADC値低下を伴う良性腫瘍の症例について報告した。

学会講演では、病理診断、産婦人科、放射線科領域における最新の臨床応用に関する知見を多く得ることができた。特に、子宮頸部病変や卵巣腫瘍に関する報告が多く、診断精度向上と治療方針決定への応用が議論の中心となっていた。中でも、婦人科領域における免疫チェックポイント阻害薬を中心とした薬物治療の作用や副作用に関する臨床経験を拝聴す

る機会を得て、分子標的薬や個別化治療の選択に直結する有用な知見と感じた。また、画像診断においても、ICI使用の有無によって生じ得る画像所見に関する報告は有益な学びとなった。

総じて、JSAWI2025は画像診断、病理診断と産婦人科臨床を結びつける実践的な情報に富んでおり、今後の診療に直ちに反映し得る知見を数多く得ることができた。今後も、この学会で得た知識や経験を臨床に活かし、医師としての成長を続けるとともに、患者により良い医療を提供できるよう努めていきたい。

また、今回宮坂アワードを受賞する機会を頂き、学会参加の貴重な経験を得られたことに深く感謝する。さらに、発表にあたりご指導を賜った工藤教授、常田先生、北海道大学病院放射線診断科の皆様にご心より御礼申し上げたい。

